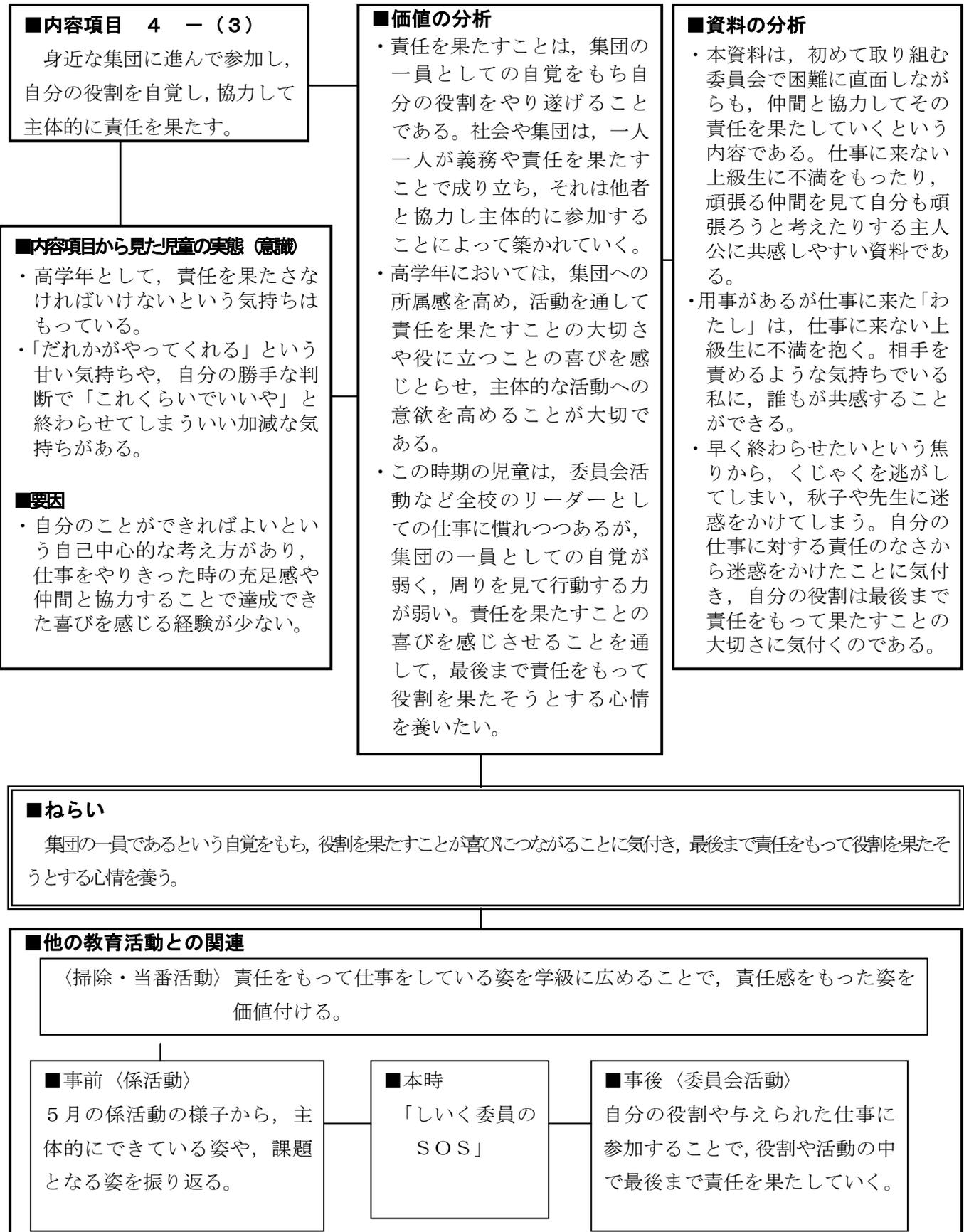


1 主題構成表

主題名 責任を果たす

資料名 ししく委員のSOS（出典：文溪堂）



2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇自分の責任を果たすことについて話し合う。</p> <p>○委員会や係・当番の仕事をするとき、どんな気持ちで仕事をしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の当番の日を忘れないようにしている。 ・生活委員会で挨拶当番を忘れずにやっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事への取り組み方について、事前に実態を把握し、G・T児に意図的指名をする。
展開前段	<p>◇資料を読み、主人公の気持ちや行動について話し合う。</p> <p>○感想を發表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望した委員会に入ることができて、張り切って上級生と一緒に仕事をした「わたし」は責任感がある。 ・自分は遅れずに掃除に来ているのに、6年生は来なくなってしまって、私だったら帰りたいと思う。 <p>○仕方なく掃除を始め、いつもなら掃除が終わる時間だと気付いた「わたし」はどんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちゃんと6年生が来ていれば、予定通り帰ることができていたのに、腹が立つな。 ・帰りたいけど、秋子さん一人で仕事するのは申し訳ないな。 ・私も用事があるから、適当に早く終わらせて帰ってしまおう。 <p>○戸がきちんと閉まったのを確認し忘れてくしゃくが逃げたしまったとき、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうやって捕まえよう、まずいことになった。 ・戸が閉まるのをちゃんと確認しておけばよかった。 ・早く終わらせることばかり考えていい加減だったな。 <p>○秋子の薦めを断り、自分から「続きをやりましょう。」と言った「わたし」はどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のせいで秋子さんにも迷惑をかけたのに、自分だけ帰るなんてできない。 ・任せて帰ろうなんて考えて悪かった。 <p>深めの発問</p> <p>○時間が遅くなったのに、すがすがしい気持ちで家に帰ることができたのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋子さんに任せずに、自分の仕事をやり遂げることができたから。 ・自分の都合だけ考えずに、最後まで責任を果たすことができたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の行動や思いについて素晴らしいと感じるところを見つけながら資料を読む。 ・児童の感想を板書に位置付け、話し合いへつなげるようにする。 ・自分も用事があるのに帰れないことへの苛立ちを感じている心情に共感させる。 ・6年生と協力していた時の気持ちとは対照的に、仕事よりも自分の都合を考えている自己中心的な気持ちがあることに気付かせる。 ・本当は早く帰りたい気持ちもあることにもふれ、それでも自分の責任を果たそうと、進んで最後まで協力して仕事をやり切った主人公の気持ちを考えることで、主体的に責任を果たすことの大切さに気付かせる。 <p>※一つのことを達成するためには、集団の一人一人の協力が大切であるという認識を養う。</p>
展開後段	<p>◇自分の生活を振り返る。</p> <p>○自分のやらなければならない仕事で、責任をもって最後まで役割を果たせたことや果たすとよかったと思うことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活委員会で、最初はあいさつ運動を張り切ってしていたけど、だんだん面倒になってやらなくなってしまった。でも、責任をもってやらないのはいけないと思って、ちゃんと朝来たら教室の前に立って挨拶をするようにした。いい加減にしないで毎日続けるといい気持ちになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面を提示し、自分の生活を振り返る手がかりとする。 ・振り返りができない児童には、実態を把握して、振り返りができるように援助する。 ・心情の変化が掴めるようにG・T児に意図的指名する。
終末	<p>◇説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で責任を果たそうとする心情を高める。